

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>            2 項目別評価            II 業務運営・財務内容等の状況            (2) 財務内容の改善に関する目標</p> <p><b>【原文】</b>            「「企業、地域社会などと連携を密にして、大学の物的・人的資源を活用した自己収入の増加を図る」(実績報告書20頁)について、<u>入学志願者の確保のための施策が十分に行われておらず、平成15年度から平成19年度にかけて入学志願者数が低下していることから、中期計画を十分には実施していないものと認められる。</u>」</p> <p><b>【申立内容】</b>  <b>【修正文案】</b>の通り変更願いたい</p> <p><b>【修正文案】</b>            「「企業、地域社会などと連携を密にして、大学の物的・人的資源を活用した自己収入の増加を図る」(実績報告書20頁)について、平成17年度から平成19年度にかけて入学志願者数が低下していることから、中期計画を十分には実施していないものと認められる。」</p> <p><b>【理由】</b>            入学志願者の安定的確保のため、平成18年度に社会ニーズに適応させた学部改組や平成19年度の博士後期課程における連携大学院制度のスタート及び大学説明会等を充実させるなどの入試広報の強化に努めてきた。その効果は少子化の影響もあり、平成19年度までの本評価期間において結果として現れてはいないが、原文の「入学志願者の確保のための施策が十分に行われておら</p>	<p><b>【対応】</b>            意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『企業、地域社会などと連携を密にして、大学の物的・人的資源を活用した自己収入の増加を図る』(実績報告書20頁)について、<u>入学志願者の確保のための施策を始めているが、平成17年度から平成19年度にかけて入学志願者数が低下していることから、中期計画を十分には実施していないものと認められる。』</u></p> <p><b>【理由】</b>            事実関係に即した修正。</p>

ず」の表現では、本計画に対する取組みが非積極的かつ不十分との誤解を招きやすい。ゆえに、この部分の削除を求めるものがあります。

また、入学志願者総数の推移は、15年度：649名、16年度：660名、17年度：565名、18年度：510名、19年度：474名（平成20年10月31日報告済み）であり、減少に転じたのは、平成17年度であることから、内容の正確性を期すためにも、修正文案のとおり訂正をお願いするものです。